

令和2年度学校自己評価システムシート (県立越谷東高等学校)

目指す学校像	志を高くチャレンジ精神に満ちた生徒を育て、きめ細かく面倒見のよい指導を実践し、地域から信頼される学校
--------	--

重点目標	1 学習支援を充実させ、生徒の学習力を高める。 2 生徒一人一人の希望にそった進路決定を実現させる。 3 規律ある生活態度を身につけさせ、部活動を活性化させる。 4 地域との連携を深め、社会に貢献できる生徒を育成する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】 ○宿題として家庭学習に取り組む生徒は多いが、自発的な学習をする生徒は少ない。 ○文系は数学、理系は国語が苦手になっている。総合的な基礎学力の底上げが必要である。 【課題】 ○自発的な学習習慣を身につけさせることが課題である。 ○教科を超えた学び合いの機会を増やし、さらなる指導力向上に取り組む。	○家庭学習習慣を定着させ、学習力の向上を図る。	①家庭学習を前提とした授業を展開し、学習習慣を身につけさせる。 ②実力テストの実施と結果を活用し、生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる。	①授業アンケート「予習・復習をしている。」70%以上。 ②実力テスト結果を昨年よりも向上させ、経年変化を分析。		
		○組織的な学習支援体制を充実させることにより、指導力向上を目指す。	①教員の指導力向上を図るため、授業公開や研究授業を実施する。 ②研究授業後に各教科で研究協議を実施、授業改善に努める。 ③研究授業や授業観察を行い、教員の指導力向上に努め、生徒の学習意欲を高める。	①授業公開を年5日実施。初任研・5年研・未来学び研究開発にて、研究授業を実施。 ②各教科で研究協議を実施。 ③学校評価アンケート「分かりやすい授業している。」70%以上。		
2	【現状】 ○生徒の進路実現を図るため、計画的・組織的な進路指導を行っている。 ○大学入試改革と大学の定数厳格化に対応した指導を充実させる。 【課題】 ○計画的な進路指導を継続し、生徒の進路を実現させる。 ○大学入試改革への対指導の充実。	○計画的組織的な進路指導を遂行し、自己理解に基づく生徒一人一人の適切な進路実現を図る。	①計画的な進路指導を実施し、生徒の進路を実現させる。 ②進学希望者へ進学補習を計画的に実施する。 ③多様な進路希望に応じた柔軟な進路指導・面接指導の実施。 ④大学入試改革に向けた教員研修に積極的に参加する。	①進路未決定者数を0に近づける。 ②每学期進学補習の実施。長期休業中に進学補習の実施。大学短大の現役進学者数の増加(R1 106人) ③学校評価アンケート「進路希望を実現させるため、進路指導を十分に行っている。」90%以上。 ④大学入試改革教員研修会の実施。		
		○基本的生活習慣を確立させ、継続した生徒指導を実践する。	①挨拶の励行。言葉遣いの指導の徹底。 ②統一基準による整容指導の徹底。 ③全教員による身だしなみ指導の実施。	①学校評価アンケート「挨拶や言葉遣いの指導を十分に行っている。」90%以上。 ②学校評価アンケート「頭髪や服装指導を十分に行っている。」90%以上。 ③毎学期に身だしなみ指導を実施。		
3	【現状】 ○全職員の共通理解のもと生徒指導を実施し、落ち着いた環境を整えている。 ○部活動加入率 85.9%、部活動の活性化に取り組んでいる。 【課題】 ○職員間の協力体制を維持、規律を徹底させ継続した指導が必要である。 ○部活動加入率を維持・向上させ、部活動をさらに活性化させる。	○部活動の活性化を図る。	①部活動体験会・部活動見学会を実施し、加入率を向上させる。 ②部活動の活動報告や大会等の結果をHPで積極的に発信する。	①部活動の加入率90%以上を目指す。 ②各部活動のHPを年間平均3回以上の更新を目指す。		
		○地域との協働を図るとともに、魅力ある情報発信を行う。	①学校説明会を通じて、魅力ある情報発信を行う。中学校訪問を全教員で実施し、地域との協働を図る。 ②HPによる学校の情報発信を積極的に行う。 ③地域に貢献するため、他校種との交流や地域のボランティア活動に積極的に参加する。	①学校説明会参加者数の延べ800組以上。(R1 701組) ②HPトップページの更新回数を年間50回以上、HPのアクセス数月平均10,000回以上。 ③越谷市内中学校との授業交流を実施、地域のボランティア活動に参加。		
4	【現状】 ○HPをリニューアルし、魅力ある情報発信を行っている。 ○越谷市内中学校との授業交流を実施。 ○PTA・後援会と連携し、学校運営にあたっている。 【課題】 ○学校説明会の時期や内容を変更、学校説明会等の参加者を増やし、積極的に情報発信を行う。 ○今後もPTA・後援会と連携して生徒の健全育成を図り、学校運営に活かしていく。	○保護者と連携し、本校の教育活動の理解を図る。	①PTA・後援会からの意見や要望を学校運営に活かし、保護者からの学校満足度を向上させる。 ②PTA・後援会に学校行事の協力を依頼し、役員の参加者数を増やし、連携を図る。	①学校評価保護者アンケート「本校に入学してよかったと感じる。」(入学満足度)90%以上 ②PTA・後援会役員の学校行事での参加者数。		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		